

各区だより

北区 北きた

コロナに負けるな!
老人クラブ

昨年度、愛知県に3回目の緊急事態宣言(5月12日~6月20日)が発令され、その後2回目のまん延防止等重点措置(6月21日~7月11日)の適用へと移行されました。その1カ月ほど後に3回目のまん延防止等重点措置(8月8日~9月12日)の適用となったわけですが、なごやかクラブ北では、「なごやかクラブ北大会・演芸大会」を、この解除期間中に開催(7月28日)することができました。まだまだ感染者も多く感染の危険もあることから、会場への入場制限および演芸大会出場者の人数制限や演目を指定する等の対策を立てての実施となりました。2年ぶりの大会とあって、会場は大いに盛り上がりました。やはり、行動が制限され発表の場もなかった踊り手の皆さん



新たな変異株も次々と現れ、今後どうなるのかまだまだ先は見えませんが、皆さま方と協力し合って、何とか創意工夫しながら行事を執り行なっていきたいと考えています。これからも感染者が増えないことを祈るばかりです。

(横井 伸郁)



んや、久しぶりに目にする間近な演技が踊る側、観る側双方にとって、何かしら感ずるものがあったのではないのでしょうか。その後、9月末からは中止や延期となっていたさまざまな行事を行うことができました。参加される皆さんの楽しそうな顔を拝見するたびに、やはり老人クラブはこうでなくては…。しかし、最も多くの会員の方が参加できる発表の場「趣味の作品展」は、2年連続で開催することはできませんでした。コロナ禍だからこそ家で準備できる唯一のものですが、誠に残念ではありません。

西区 にし

山田地区連合会の3大行事



「入るかなあ〜?」 庄内緑地公園にて

つが参加してカラオケや合唱、舞踊、寸劇、詩吟、琴の演奏に「頑張って」とか「うまいぞー」などと声援や拍手。みんなが熱演し、楽しい雰囲気にも包まれ、和気あいあいの大会となりました。また、飛び入りで有志20名くらいが舞台の人と一緒に踊りや合唱をし、一層楽しい大会となりました。フィナーレは全員で合唱で幕となり、参加賞を手に満足感に満たされたひとときを過ごし、帰宅となります。

③6学区グラウンド・ゴルフ大会 昨年は秋ごろよりコロナが下火となったので、12月に庄内緑地公園に130余名が参加し、西区福祉課長や山田支所長等をお招きし、ポカポカ陽気に恵まれ開かれました。市長賞、市議長賞、スポーツ市民局長賞をはじめ10位までの選手に賞を授与し快い汗を拭きながら解散しました。

(宮脇 行正)

この山田地区は昭和30年10月1日に西春日井郡山田村が名古屋市と合併、今年で66周年になります。それまで、この一帯は素朴な田園地帯でした。

山田地区連合会は7学区で構成されています。主な行事は、西区福祉課長や山田支所長、7学区の自治会長等を来賓としてお招きして開催しています(一昨年と昨年はコロナ禍で健康教室と演芸大会が中止となりました)。

①健康教室 例年ですと山田地区会館に400余人が集い、インストラクターによる健康講話と椅子に掛けたり起立しての体操。高齢者には、いかに散歩や体操、脳トレが重要であることを、ジョークを交えてお話しいただきます。また、他の学区の知り合いと久しぶりに交流しながら和やかに親睦を深めています。

②演芸大会 各学区から3組ず



松林の中で「それ入ったか?」